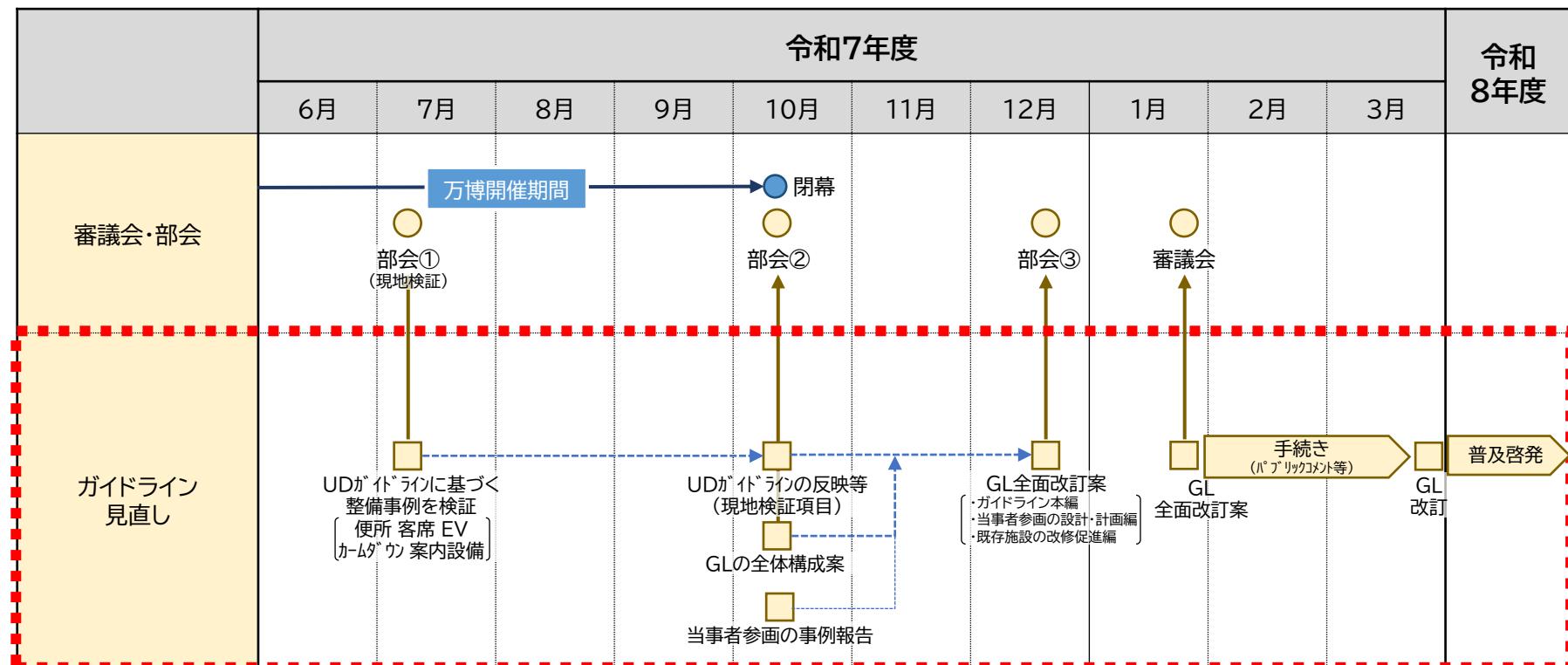


バリアフリーガイドラインの改訂について

令和7年度 大阪府福祉のまちづくり審議会 スケジュール

○ 令和7年度については、万博会場での現地検証を含め、これまで3回の部会を開催し、バリアフリーガイドラインの改訂に向けた議論を実施

■スケジュール(予定)



本日
Red triangle pointing upwards indicating the current date.

第28回 万博会場で開催した部会の様子(R7/7/8開催)

- バリアフリーガイドラインの改訂に向けて、万博会場において部会を開催し、シャインハット及び大阪ヘルスケアパビリオンのバリアフリーの状況を点検した上で意見交換を実施

日時	令和7年7月8日(火) 14:00~17:00
場所	2025大阪・関西万博 大催事場(シャインハット) / 大阪ヘルスケアパビリオン



参加者	福祉のまちづくり審議会 部会員 《協力》(公社)博覧会協会・(公社)大阪パビリオン 《事務局》大阪府 建築環境課
-----	--

- ① 府条例GLを上回る整備内容及び条例改正基準に係る整備内容について、各パビリオンで現地確認

	確認施設	主な確認項目(下線は条例改正項目)
シャインハット	客席	空間、ヒアリングループ、サイトライン等
	エレベーター	袖壁、ドア幅 等
大阪PV	トイレ	機能分散、介護ベッド、フラッシュライト等
	カームダウン	ソフトタッチの内壁、調光 等
	誘導設備	アプリ(ナビレンズ)

- ② 優れている点や改善点について振り返り・意見交換



第28回 万博会場で開催した部会の様子(R7/7/8開催)

□ 現地確認

シャインハット

- ・調査箇所
エレベーター(1F)
客席
【番外編】
車椅子対応避難器具(2F)
トイレ(1F)



調査の様子



車椅子対応避難器具のデモンストレーションを実施しました

急遽、1Fトイレの点検も実施しました

大阪ヘルスケアPV

- ・調査箇所
トイレ(みんなトイレ 1F)
カームダウン・クールダウンルーム(2F)
【共通】
案内表示(ICT(ナビレンスアプリ)を活用した音声案内



調査の様子



□ 意見交換会

・意見概要(詳細は次頁以降)



【エレベーター(EV)に関する意見】

- ・遠くからでもEVが視認できるように壁との色分けに配慮が必要
- ・片袖の有無は、車椅子の方にとって非常に重要 など



【客席に関する意見】

- ・同伴者の座席は一般座席と同じ仕様するのが大事
- ・ヒアリンググループ席が、3箇所に分かれて分散していたのでよかった など



【トイレに関する意見】

- ・カーテンホルダーを設置してほしい
- ・オールジェンダートイレが中央に設置されているのはよかった など



バリアフリーガイドライン改訂の概要

福祉のまちづくりのための施設整備

バリアフリーガイドライン【本編】 【別冊】

- 府域全域でより高い水準でのバリアフリー化が進むよう、大阪・関西万博で先導的に展開されたバリアフリー基準や取組の反映など内容を充実化



現行

大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン

《平成28年策定、令和5年改訂》

- 施設のバリアフリー設計、維持管理時の配慮事項等をまとめた指針として策定
- 条例に基づく義務基準の解説に加え、望ましい基準や事例等を紹介



改訂の主なポイント

1 大阪・関西万博での基準、取組の反映

- 障がい当事者等が参画する現地検証を経て、万博での先導的なバリアフリー基準や取組を反映



《主な反映内容》

トイレに求められる機能や仕様をより具体化・明確化

- フラッシュライトの設置位置
- 大人用介護ベッドの大きさ・表示
- オールジェンダートイレ(男女共用トイレ)など、多様なニーズに応じた配置計画
- わかりやすいピクトグラム 等



カームダウン・クールダウン

- 必要な機能や仕様の具体化・明確化



柔らかい素材の壁
カームダウン・クールダウンルーム
(大阪ヘルスケアパビリオン)

2 「当事者参画による設計・計画」の促進

- ワークショップ等により施設の設計・計画段階で障がい当事者等の意見を積極的に取り入れた事例を追加

《掲載事例》

- 大阪ヘルスケアパビリオン
- 日本館
- 関西国際空港 等



ワークショップの様子(大阪ヘルスケアパビリオン)

3 既存施設(小規模店舗)の改修等促進

- バリアフリー改修のポイントや望ましいソフト対応の例を追加



持ち運び可能な可搬型スロープ

点字メニューの常備

筆談による対話

4 よりわかりやすい構成へと見直し

- 設計者等の声を踏まえ、推奨基準と義務基準、解説等が一目でわかる構成に見直し。併せて、推奨基準→義務基準に記載順を変更
- ニーズに応じた活用が進むよう「当事者参画」「既存改修」を分冊化

《参考》改訂のポイント① 大阪・関西万博での基準、取組の反映

- **大阪・関西万博「施設整備に関するユニバーサルデザインガイドライン」等で採用された先導的なバリアフリー基準やソフト面での取組等をガイドラインに反映**

【改訂の考え方】

✓ 万博ユニバーサルデザインガイドライン等に盛り込まれている基準のうち、**府のガイドラインを上回る記載事項や記載のない基準(定性的な基準等)**や、万博における**先導的な取組事例(ナビレンス等)やソフト対応**について、現地検証(R7/7実施)等での意見を踏まえ、反映

(検討イメージ)



《参考》改訂のポイント②「当事者参画による設計・計画」の促進

- 万博等で進展した「当事者参画による設計・計画」の普及を図るため、具体的な事例(体制やプロセス等)を府のガイドラインに追加し、国ガイドラインと併せて普及を促進

【改訂の考え方】

近年の「当事者参画」事例の蓄積

□ 東京オリンピック・パラリンピック

- 「Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドライン」
- 新国立競技場の整備

□ 2025大阪・関西万博

- 「施設整備ユニバーサルデザインガイドライン」
- パビリオン(日本館、大阪ヘルスケア)の整備

□ 関西国際空港第1ターミナルビルリノベーション工事

- バリアフリー検討会、見学会

等

国の動き

□ 第4次バリアフリー整備目標(令和7年6月)

- 建築物における新たな目標設定

2030(令和12)年度末までの目標	2030年度末 数値目標
当該年度に着工した2,000m ² 以上の国等の公共特別特定建築物の建築工事のうち、着工前の段階(基本構想～実施設計)で当事者参画を実施した工事の割合	原則100%

□ 建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン

の策定(令和7年5月)

- 当事者参画の基本原則、実施フロー、留意事項等の明確化

各事例における実施体制やプロセス、意見が反映された
設計例等を集約・整理し、ガイドラインに追加

公共施設、民間施設で
積極的な活用を促進

《参考》改訂のポイント③既存施設（小規模店舗）の改修等促進

- **既存の小規模店舗におけるバリアフリー対応**を促すため、事業者等が取り組む際の参考となるよう、**改修のポイントやソフト対応等**をとりまとめてガイドラインに追加

【改訂の考え方】

【大阪府】福祉のまちづくり条例ガイドライン

施設の設計、維持管理時の配慮事項等をまとめた指針として策定



【国】建築設計標準別冊 バリアフリー改修・改善のポイント

単位空間等ごとの改善・改修のポイントをとりまとめたもの



既存の小規模店舗の改修時等
に配慮すべき項目を整理・統合

改修

ソフト対応

小規模店舗での対応を促すため、
事業者・設計者に対して普及・展開

《参考》改訂のポイント④ よりわかりやすい構成へと見直し

- 設計者や事業者等においてガイドラインの活用が促進されるよう、基準等を探しやすくするために記載内容を再整理するとともに、内容を想起しやすい名称への変更、「当事者参画」「既存改修」に係る項目の分冊化等を行う

【改訂の考え方】

◆ 記載内容の再整理

基準等を探しやすく

- 義務基準と併せて、望ましい基準や解説図が確認できるようレイアウト等を再構成
- 情報にたどり着きやすくするため、インデックスを追加 等

◆ 名称変更

内容を想起しやすく

- 設計者や事業者に配慮を求めるバリアフリー対応に特化した指針であることを明確化

(旧)

(新)

大阪府福祉のまちづくり条例ガイドライン ➡ 福祉のまちづくりのための施設整備バリアフリーガイドライン(仮称)

◆ 分冊化

使いやすく

- ニーズに応じて容易に使い分けることができるよう、項目ごとに分冊化

ガイドライン(本編)

+

「当事者参画による設計・計画」編(別冊)

「既存施設(小規模店舗)の改修」編(別冊)